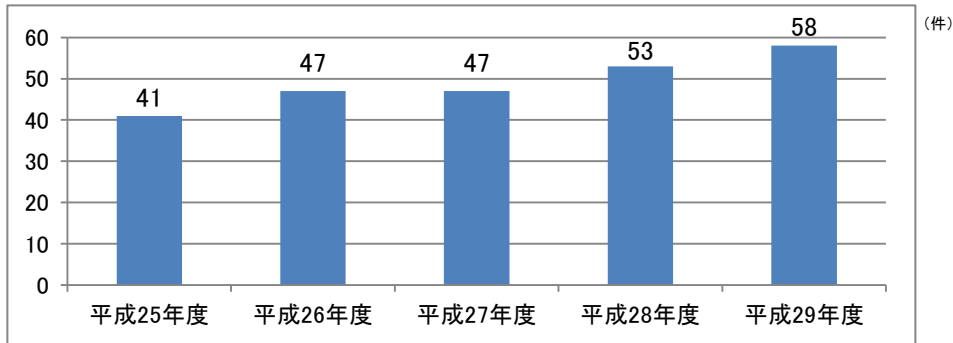


14 直線加速器による定位放射線治療患者数

○項目の解説

定位放射線治療とは、凹凸のあるがん病巣の形状に合わせて様々な角度と照射範囲で放射線照射を行う治療です。がんの周辺の正常な組織を傷つけずに、病巣だけを狙って治療を行うため、綿密な治療計画と施行時の正確な位置決めが必要となります。このため、通常の放射線治療より時間と手間がかかります。高度な放射線治療を施行する力を示す指標といえます。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

脳定位放射線治療を平成9年より、体幹部定位放射線治療は平成21年より実施しています。

脳定位放射線治療は、転移性脳腫瘍を中心に、体幹部定位放射線治療は早期肺癌及び転移性肺腫瘍に施行しています。脳定位放射線治療では1回照射である定位手術的放射線治療(SRS)だけではなく、比較的腫瘍径の大きな腫瘍に対しても可能な分割照射による定位放射線治療(SRT)の症例が増加しています。

体幹部定位放射線治療も早期肺癌を中心に増加傾向にあります。

○定義

医科診療報酬点数表における、「MO01-3直線加速器による定位放射線治療」の算定件数です。

○算式

実数